

## 大阪のうたごえ 大阪南地区合唱発表会

- 8月26日(日)
  - 東成区民センター
  - 1100 現地集合
  - 1120 リハーサル
  - 夏服(新)、九条バッジ、ひまわり、黒ズボン、黒靴
  - 「昂」(一般の部B); 「天の火」、「おらあここがいい」
  - 「私の好きなこの街合唱団」(交流の部)  
; 「海に生きたあなたよ」、「気仙大工・左官伝承館の歌」
- ※両方にエントリーしています。



(憲法九条の会・西区)

## 戦争はいやや西区平和展

- 9月9日(日) 10時から
- こども文化センター(中央図書館横)
- 1430 集合 体操・発声
- 1530 昂 出演(45分; 演奏曲は後報)
- 夏服(新)、九条バッジ、黒ズボン、黒靴



千日前線「西長堀駅」7号出口から北へ40m  
長堀鶴見緑地線「西長堀駅」3号出口から南へ50m

## 私は変える with you

JAL 不当解雇撤回

- 8月31日(金) 1800
- エル・シアター(府立労働センター)
- 支援曲ステージ大合唱  
「誓い」、「こころつなごう」

- 服装自由
- 参加協力費 500円
- 8月25日(土) 1300  
曲レッスン 音楽センター

# 「私の好きなこの街コンサート Part 2」

□「私の好きなこの街支援合唱団」が、8月19日（土）に陸前高田市「気仙大工・左官伝承館」で黙祷と献歌、8月20日（日）「陸前高田市第一中学校」で、続いて、21日（月）大船渡市老人施設「富美岡荘」で「私の好きなこの街コンサート Part 2」を開催しました。支援合唱団としては去年11月以来、2度目の訪問となり、去年の35名から増えて、今回は全53名の大勢の支援訪問となりました。

8月19日（土）

□8月19日は大阪発夜行貸切バス組は早朝に仙台着、「竜泉寺の湯」で朝ぶろを使ったあと、仙台駅で飛行機前泊組、夜行遠距離バス組、新幹線組、および去年に引き続き、PA支援を買って出てくれた「ふきのとう合唱団」のジャンボ高橋さんと合流、この時、先遣隊で数日前から陸前高田に乗りこんでいた檀、村嶋夫妻とも合流、その後、仙台空港に向かい、飛行機組も合流して最終的に参加者全員53名がバスに乗り込み、一路陸前高田へ向かいました。

□陸前高田市では、去年から瓦礫がだいぶ整理されてきたもの



の復興にはほど遠い状況の旧市街、いったん撤去されまたモニュメントとして復活することになった「奇跡の一本松」などを視察しました。ボランティアが植えた花壇が道路沿いに沢山あり目を引きました。



□そのあと、「気仙大工・左官伝承館」へ向かいました。被災者が大勢でた広田湾に向かって黙祷の後、震災地神戸から分灯寄付された「希望の灯り」を前に、「おらあこごがいい」と「気仙大工・左官伝承館の歌」を献歌しました。



「島のブルース」のリハーサルも行いました。

□その後、大船渡の「ホテル福富」に向かう途中に、陸前高田市出身の大学生が中心となって開催している「若興人祭」に立ち寄り、コンサートのピラマキと勧誘をしました。

□その後、会場の第一中学校へ向かい、会場設営に汗を流したあと、リハーサルを行いました。コーラスミュージカル「雪の女王」は関西の大人と、現地の子供たちの初顔合わせで、熱心なリハーサル、それに、第一中仮設踊りの会の女性の皆さんと



□「ホテル福富」では一同に会して夕食と交流を行いました。お風呂の後、旅の疲れもあり、早々に就寝し、明日に備えました。

8月20日(日)

□ 9時に「ホテル福富」を出発、「第一中学校」で会場設営の続きとリハーサルを行いました。いよいよ12時30分から開演。プロローグの混声合唱「私の好きなこの街」を歌い、「私の好きなこの街コンサート パート2へ ようこそ!」と、両手を広げるパフォーマンスで開幕、



約150名の参加のコンサートをプログラムどおり進めました。

### プログラム

#### 第1部

プロローグ 私の好きなこの街

男声合唱団「昂」 指揮 本並美德 ピアノ 森二三

- ・ 歓びのナーダム
- ・ 林道人夫 ソロ 奥村克美
- ・ 芭蕉布 ソロ 伊藤 知
- ・ ゆらゆら春
- ・ ねがい

混声合唱 指揮 檀美知生 ピアノ 早川奈穂子

- ・ 海に生きたあなたよ
- ・ 気仙大工・左官伝承館の歌
- ・ フィンランディア

#### 第一中仮設踊りの会(踊り)

- ・ 島のブルース (演奏: 混声合唱  
ソロ: 乾 正明)

#### 第2部

ピアノ 早川奈穂子

関西と陸前高田の大人と子どもで作る

- ・ コーラスミュージカル「雪の女王」

全員合唱と総おどり(高田音頭の踊りで)

- ・ おらぁこごがい

交流会 うたとスピーチとプレゼント

- ・ うた AKMY ピアノ 森二三

□ 村嶋由紀子さん脚本・演出になる「雪の女王」は、2008年10月に合唱団TEERAの定期公演として2日間にわたって上演され大きな感動と反響を呼んだコーラスミュージカルをもとに、今回の公演の



ため、村嶋さんが新しく演出しなおしたもので、地球環境の破壊、原発の汚染を欲望のまま引き起こしている人間に復讐するため、子どもをさらって大人たちを永遠に氷に閉じ込めてしまうことにした「雪の女王」の心を人間の愛の力と団結力で溶かし愛の地球を取り戻していくという壮大な冒険ファンタジーです。

□子どもたちの役は、陸前高田小学校の、皆さんご存じの海音ちゃんをふくむ「AKMY」の小学校3年生のグループで、事前に檀、村嶋夫妻が現地指導、練習を重ねた通り、セリフも歌も演技も立派なステージをつとめました。「AMY」のきょうだい或いはいとこ達と、TERRAの松本家の愛娘も、狂言まわしとして大事な役割の「テラテラ鳥」に扮して舞台を駆け回りました。

□雪の女王は2008年とおなじく内町智美さんが透き通った声の本格的なソプラノでつとめ、冒頭の檀さんとのデュエットはうっとり聞き惚れる素晴らしいものでした。



□このミュージカルを契機に結成した「アンサンブルアモーレ」の皆さんも、一人何役もこなしながら、鍛えた声と演技でステージをつとめました。



□昂を含む「私の好きなこの街支援合唱団」も、フィナーレに至る、「アモーレテラ」の後半、「いつだってスタートライン」の後半を同じステージでつとめて盛り上げました。

□マスコミでも、被災した子どもたちと関西の大人たちの共演のこのミュージカルは大きく取り上げられ、「毎日新聞」、「読売新聞」、「岩手日報」や「河北新報」などに写真入りで掲載されました。（別掲）

□次の日に仕事のある15人は「雪の女王」が終わったところで、マイクロバスで一路仙台空港への帰路につきました。トンボ帰りの遠征でお大変でした。ご苦労様でした。



「第一中仮設踊りの会」のみなさんの「島のブルース」合唱生演奏で

□交流会では、最初に、ゆきな、あかり、みのり、このみの4人（仮設で一緒に生活しています）で「夕陽の丘」を元気に歌い、つづいてかのんちゃんが、正確なリズム、音程で「千と千尋の神隠し」を、高音部はきれいなファルセットを響かせて歌ってくれました。かのんちゃんは、いま歌を習っています。

□交流会はそのあと、第一中仮設踊りの会の会長さんの挨拶、絵手紙の永井さんのスピーチなどこもごも発言、交流し、永井さんの力作の絵手紙団扇などを会場の皆さんにプレゼントしました。



永井さんのプレゼント「絵手紙うちわ」

□プログラムが無事終了後、また、パイプ椅子、敷物、ステージ、P Aの片付け、モップかけなど、お借りした体育館会場の原状復帰に汗を流しました。みなさんの体力はまだまだ若者並み、ご苦労様でした。

プレゼント



岩手日報

日 幸民

2012年（平成24年）8月20日（月曜日）

地

# 被災乗り越え音楽劇

陸前高田 子どもら元気発信

「第2回私の好きなこの街コンサート」は、この街コンサートは、19日、陸前高田市の一中体育館で開かれた。東日本大震災で家族を亡くした子どもたちがミュージカルに挑戦し、「元気を与えたい」と熱演。市民ら約100人の心を打った。

出演したのは高田小3年の熊谷海音さん、新沼朱莉さん、美堯さん姉妹と新沼さんのいとこの松田由希菜さんの同級生4人。熊谷さんと新沼さん姉妹は震災で両親らが犠牲になった。

ミュージカルは絆や団結の大切さを伝える内容。子ども役を演じた熊谷さんは「みんなに元気を与えたいと思って歌った」と充実感

をにじませ、朱莉さん「見せた。は「緊張したけど、うまくできた」と笑顔を 通じた支援を行う兵庫



「私の好きなこの街支援合唱団」のメンバーとミュージカルを熱演する子どもたち



総踊り



森二三先生、機嫌よくお付き合い  
いただきありがとうございました



「おらぁこごがいい」を「高田音頭」の振りで、会場総踊り

## Cafe うふふ で 打ち上げ

去年と同じく復興カフェ「うふふ」で打ち上げをしました。



檀美知生、村嶋由紀子夫妻。今回も大変なご尽力で、  
何から何まで全部組み立てていただきました。

以下次号

No.370 (6/6)